

直径35 MMのケースを備えた IWC「インチュニア・オートマティック 35」

シャフハウゼン/ジュネーブ、2025年4月1日。IWCシャフハウゼンは、ジュネーブで開催されるウォッチズ&ワンダーズで「インチュニア・オートマティック 35」を発表します。この新しい自動巻きモデルにより、スイスの高級時計マニュファクチュールであるIWCは、3型の35mmケースのモデルで「インチュニア」コレクションをさらに充実させます。1つはゴールドカラーの文字盤を備えた18Kレッドゴールド製。他の2つのモデルはステンレススチール製で、ブラックまたはシルバーメッキの文字盤を備えています。新しい「インチュニア・オートマティック 35」は、40 mmケースのモデルと同様、人間工学に基づいた設計となっており、細部にまでこだわった仕上げが施されています。

2023年、IWCシャフハウゼンは「インチュニア・オートマティック 40」を発表しました。このモデルは、ジェラルド・ジェンタが1970年代に発表した「インチュニア SL (Ref.1832)」の象徴的なデザインを復活させた、プレスレット一体型のラグジュアリー・スポーツウォッチです。スイスの高級時計マニュファクチュールであるIWCは今年、「インチュニア・オートマティック 35」でコレクションを拡充します。この新しいコンパクトな自動巻きモデルのケースの直径は35 mm、厚さはわずか9.44 mmです。

「インチュニア・オートマティック 35」には3種類のバージョンがあります。1つは、18Kレッドゴールドのケースとプレスレット、ゴールドカラーの文字盤を備えたモデルです (Ref. IW324903)。その他に、ステンレススチールのケースとプレスレットを備えるモデルが2型あり、一方がシルバーメッキの文字盤 (Ref. IW324901)、もう一方がブラックの文字盤 (Ref. IW324906) となっています。

強化された人間工学とハイエンドならではの仕上げ

よりコンパクトなサイズにもかかわらず、「インチュニア・オートマティック 35」は、IWCインチュニアの特徴的なデザインの要素をすべて備えています。その中には、5つの機能的なネジが装備されたベゼル、中央のリンクを介して取り付けられる一体型プレスレット、アプライド・インデックスが配置されたグリッド・パターンの文字盤などがあります。デザイナーとエンジニアが協力し、インチュニアのすべてのパーツと特徴となる部分を35mmのケースのサイズに忠実に合わせ、プロポーションを整えて仕上げました。その結果、インチュニアの一目でわかる外観と感触が、完璧な人間工学に基づく快適な装着感とともに、より小型でよりフラットな形状で実現されています。

40 mmバージョンと同様、「インチュニア・オートマティック 35」も細部にまでこだわった仕上げが印象的です。3つの新しいモデルは、サテン仕上げとポリッシュ仕上げの表面を組み合わせて仕上げられているため、質感が高まり、光を美しく反射します。5つの機能的なネジでケースリングに固定されたベゼルはサテン仕上げで、その外側のエッジがポリッシュ仕上げになっています。プレスレットのH型リンクもエッジがポリッシュ仕上げのサテン仕上げで、中央のリンクとケースバックには全体的にポリッシュ仕上げが施されています。

グリッド・デザインの特徴的な文字盤

「インチュニア・オートマティック 35」の特徴は、精巧に制作された文字盤です。この文字盤は、細いラインとスクエアで構成される特徴的なグリッド・パターンを備えています。さらなるディテールは、日付表示窓の複雑なフレーミングです。3つのモデルすべてのアプライド・インデックスは、個別に手作業で取り付けられ、スーパールミノバ (Super-LumiNova®) が塗布されています。18Kレッドゴールド製のモデルは、ソリッドゴールドのアプライド・インデックスとゴールドメッキの針、2つのステンレススチール製のモデルは、ステンレススチールのアプライド・インデックスとロジウムメッキの針を備えています。

サファイアガラスのシースルー裏蓋

「インチュニア・オートマティック 35」の3種類のバージョンはすべてシースルー裏蓋を備えており、そこからパワーリザーブ42時間の自動巻き機構を備えたキャリバー47110を見ることができます。ペルラージュ装飾とコート・ド・ジュネーブ装飾で仕上げられたムーブメントは、ゴールドメッキのローターを備えています。

インヂュニア・オートマティック 35

REF. IW324903 / REF. IW324901 / REF. IW324906

特徴

機械式ムーブメント - 日付表示 - 秒停止機能付きセンター・スモールセコンド - サファイアガラスの
シースルー裏蓋

ムーブメント

キャリバー	47110
振動数	28,800回/時 (4 Hz)
石数	23
パワーリザーブ	42時間
巻き上げ	自動巻き

時計

素材	Ref. IW324903: 18Kレッドゴールド製ケース、ゴールドカラー文字盤、 レッドゴールドのアプライド・インデックスおよびゴールドメッキの針、一体型 18Kレッドゴールド製ブレスレット、バタフライ・フォールディング・クラスプ Ref. IW324901: ステンレススチール製ケース、シルバーメッキの文字盤、 ロジウムメッキの針とアプライド・インデックス、ステンレススチール製の 一体型ブレスレット、バタフライ・フォールディング・クラスプ Ref. IW324906: ステンレススチール製ケース、ブラックの文字盤、 ロジウムメッキの針とアプライド・インデックス、ステンレススチール製の ケース一体型ブレスレット、バタフライ・フォールディング・クラスプ
ガラス	両面反射防止加工を施したドーム型サファイアガラス
防水性	10気圧
直径	35 mm
厚さ	9.4 mm

IWCシャフハウゼン

IWCシャフハウゼンは、スイス北東部のシャフハウゼンに拠点を置く、スイスの大手高級時計メーカーです。ポルトギーゼやパイロット・ウォッチなどのコレクションを擁するこのブランドは、エレガントな時計からスポーツ時計まで、あらゆる種類の時計を扱っています。1868年、米国の時計技師でエンジニアでもあったフロレンタイン・アリオスト・ジョーンズが設立したIWCは、人間ならではの職人技と創造性、その最良の部分と最先端の技術および工程とを組み合わせ、時計製造に対する独自のエンジニアリングで知られています。

150年以上にわたる歴史の中で、IWCは精巧かつ丈夫で使い勝手のよいプロ仕様の計器時計や、複雑機構（とりわけクロノグラフとカレンダー機能）を組み込んだ時計をつくり、高い名声を得てきました。チタンやセラミックの採用の先駆者であるIWCは、現在、カラーセラミック、セラタニウム®、チタンアルミナイドなどの先進的な素材を用いた、高度なエンジニアリングと専門知識を駆使したケースも製造も行っています。

持続可能な高級時計の第一人者であるIWCは、責任をもって素材を調達し、環境への影響を最小限に抑えるための努力を惜しみません。透明性、循環、責任という3つの柱に沿って、このブランドは何世代にもわたって長持ちする時計をつくり、責任をもって製品を製造、流通、修理するためのあらゆる要素を継続的に改善しています。さらに、IWCは子供たちと青少年への支援に向けて世界的に活動している組織とも提携しています。

ダウンロード

「インチュニア・オートマティック 35」の画像は、press.iwc.comから無料でダウンロードいただけます。

お問い合わせ

IWCシャフハウゼン

広報部門

Email press-iwc@iwc.com

Website press.iwc.com

インターネットおよびソーシャルメディア

Website iwc.com/ja

Facebook facebook.com/IWCWatches

YouTube youtube.com/iwcwatches

LinkedIn linkedin.com/company/iwc-schaffhausen

Instagram instagram.com/iwcwatches_jp

Pinterest pinterest.com/iwcwatches

#IWCwatches